



安曇野市

第26号

農業委員会だより

写真記事の説明

10月に出荷された穂高
柏矢町の農家、西澤清
さんのトルコキキョウ



新しい農業委員 24 人・農地利用最適化 推進委員 27 人が決まりました。

農業委員任期満了に伴い、改正農業委員会法施行後初めての改選が行われ、農業委員 24 名、農地利用最適化推進委員 27 名により構成される新たな体制へ移行しました。

任期は平成 30 年 7 月 20 日から 3 年間になります。

(農地利用最適化とは、担い手への農地集積・集約、耕作放棄地の発生防止・解消、農業の新規参入者を促進することです。)

新農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介は 2 ページから

● 主な内容 ●

新農業委員・推進委員紹介 ……	2～5
名簿一覧表 ……	6
がんばる農業者 ……	7
私のおすすめ・旬の一句 ……	8

発行日/平成 30 年 12 月 5 日 (水)
編集と発行/安曇野市農業委員会
安曇野市豊科 6000 番地
tel 0263(71)2497

農業委員会事務局ホームページアドレス
<http://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/49/23279.html>

申請書、届書のダウンロードができます。

新農業委員・農地利用最適化 推進委員を紹介します。



会長：中島 完二
担当地区／熊倉

安曇野市民の皆様におかれましては、農業委員会活動に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、農業委員の任期満了に伴い、7月20日の総会に於いて、安曇野市第6期農業委員会会長の重責を担うこととなりました。身に余る光栄でありますとともに、改めて責任の重大さを痛感しているところでございます。

今般の改選は、農業委員会等に関する法律が改正され、新た

に農業委員と、農地利用最適化推進委員が選任され、計51名による新体制のもと3年間の任期をスタートしました。

安曇野市における農業の現状は、農業従事者の高齢化と後継者不足、これらに伴う耕作放棄地の増大、さらに有害鳥獣による被害の拡大等、大変厳しい状況下におかれています。

農業委員会では、これ等の課題に対応していくために、農業委員と農地利用最適化推進委員の相互が連携し最重要課題であります、担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入への促進等「農地利用の最適化」に向けて、積極的に取り組んでいきますので、引き続き皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。



会長代理：中田 平男
担当地区／東小倉（西）

構築を推し進めてまいりたいと存じます。

また、会長代理としての職務の遂行に努めてまいります。

地域委員会における濃密な案件審議や、農業振興・農地保全に関わる検討など、大いなる活動に取り組みます。

そして、農家に寄り添う委員会を目指します。



副会長：矢野口 隆三
担当地区／新屋

安曇野市第6期農業委員会副会長を務めることになりました。

第5期板花会長の下で学んだことを活かし、中島会長を補佐していきたいと思っております。

新制度に移行した今回、農業委員・農地利用最適化推進委員の皆様と山積している諸問題の解決に努めたいと思っております。

田園産業都市を掲げる安曇野市にあって、農地の保全をどうすべきか、多数の皆さんと意見交換ができる農業委員会でありたいと思っております。よろしく申し上げます。



(農業委員)
青山 守
担当地区/踏入・寺所



(農業委員)
長崎 要
担当地区/小瀬幅・大口沢・光



豊科地域長 (農業委員)
高橋 修
担当地区/吉野・成相・新田

豊科地域



(推進委員)
丸山 弥代
担当地区/細萱・重柳



(推進委員)
丸山 大樹
担当地区/上鳥羽・下鳥羽・本村



(推進委員)
降旗 治喜
担当地区/真々部



(推進委員)
望月 政宜
担当地区/徳治郎・田沢



(推進委員)
三原 三男
担当地区/飯田・下飯田・中曽根



(農業委員)
臼井 正昭
担当地区/矢原・白金



(農業委員)
佐原 悦司
担当地区/富田・豊里



(農業委員)
海川 信義
担当地区/久保田



穂高地域長 (農業委員)
平川 邦夫
担当地区/穂高

穂高地域



(推進委員)
中澤 優
担当地区/立足



(推進委員)
浅川 増行
担当地区/等々力・等々力町・穂高町



(農業委員)
下里 正
担当地区/狐島・青木花見・島新田



(農業委員)
安田 洋子



(農業委員)
小林 克人
担当地区/柏原・柏矢町



(推進委員)
畠山 宜尚
担当地区/小岩岳・嵩下



(推進委員)
田口 博之
担当地区/古厩・宮城



(推進委員)
寺島 信夫
担当地区/牧



(推進委員)
赤羽 照夫
担当地区/橋爪・耳塚



(推進委員)
三枝 守和
担当地区/塚原

三郷地域



(農業委員)
塚田 善久
担当地区/北小倉



(農業委員)
倉科 茂男
担当地区/下長尾



(農業委員)
小澤 守
担当地区/野沢



三郷地域長 (農業委員)
宮澤 貞仁
担当地区/中萱



(推進委員)
降旗 正幸
担当地区/二木・及木



(推進委員)
降幡 修二
担当地区/南小倉



(推進委員)
齋 信
担当地区/上長尾



(推進委員)
石曾根 正尚
担当地区/榎・住吉



(推進委員)
藤岡 喜美夫
担当地区/東小倉 (東)



(推進委員)
帯刀 佳郎
担当地区/室町



(推進委員)
西澤 雅昭
担当地区/一日市場・七日市場

堀金地域



(農業委員)
北林 澄子



(農業委員)
北林 幹男
担当地区/上堀



(農業委員)
猿田 久雄
担当地区/田多井



堀金地域長 (農業委員)
須澤 佳正
担当地区/下堀



(推進委員)
上條 弘勝
担当地区/小田多井・田尻



(推進委員)
唐澤 健康
担当地区/扇町



(推進委員)
片桐 久夫
担当地区/岩原・倉田



(推進委員)
矢淵 一良
担当地区/中堀



(農業委員)
河上 賢



(農業委員)
藤原 秀二
担当地区/潮



明科地域長(農業委員)
池上 洋助
担当地区/宮中・光・町・明科

明科地域



(推進委員)
大堀 洋幸
担当地区/大足



(推進委員)
請地 康仁
担当地区/上押野・下押野・塩川原



(推進委員)
山崎 晃
担当地区/荻原・南陸郷



(推進委員)
伊藤 重徳
担当地区/潮沢・木戸・上生野

※推進委員は農業委員と同様に地方公務員の特別職の身分になります。

委員の役割分担

農業委員

- ・ 総会での農地の権利移動、転用審議等の意思決定
- ・ 現場活動（農地調査、農地利用最適化の推進等）

連携



農地利用最適化推進委員

- ・ 現場活動（農地調査、農地利用最適化の推進等）
- ・ 総会での農地利用最適化に関する活動報告又は意見申述

全国農業新聞 を購読してみませんか

(月4回金曜日発行 B3版10～14頁建 購読料：月700円 [送料、税込み])

全国農業新聞は経営とくらしに役立つ農業総合専門紙として高い評価を受けています。

・・・お申し込みは農業委員会事務局まで・・・

入って安心 農業者年金 収入が不安定で将来が心配…そんな方へ

◆国から保険料補助が受けられる加入区分もあります

これから加入すると将来どのくらいもらえるのか、簡単に試算できます。

お近くのJA、もしくは農業委員会事務局までお問い合わせください。

第6期 安曇野市農業委員・農地利用最適化推進委員 名簿

地区		氏名	ふりがな	担当地区	担当 農業委員	備考
豊科	農	中島 完二	なかじま かんじ	熊倉		会長
	農	高橋 修	たかはし おさむ	吉野・成相・新田		地域長
	農	長崎 要	ながさき かなめ	小瀬幅・大口沢・光		
	農	青山 守	あおやま まもる	踏入・寺所		
	推	三原 三男	みはら みつお	飯田・下飯田・中曾根	中島	
	推	望月 政宜	もちづき まさのり	徳治郎・田沢	長崎	
	推	降旗 治喜	ふりはた はるき	真々部	中島	
	推	丸山 大樹	まるやま ひろき	上鳥羽・下鳥羽・本村	高橋	
	推	丸山 弥代	まるやま やしろ	細萱・重柳	青山	
穂高	農	矢野口 隆三	やのくち たかみ	新屋		副会長
	農	平川 邦夫	ひらかわ くにお	穂高		地域長
	農	海川 信義	うみかわ のぶよし	久保田		
	農	佐原 悦司	さはら えつじ	富田・豊里		
	農	臼井 正昭	うすい まさあき	矢原・白金		
	農	小林 克人	こばやし かつと	柏原・柏矢町		
	農	安田 洋子	やすだ ようこ			
	農	下里 正	しもさと ただし	狐島・青木花見・島新田		
	推	浅川 増行	あさかわ ますゆき	等々力・等々力町・穂高町	臼井	
	推	中澤 優	なかざわ まさる	立足	矢野口	
	推	三枝 守和	みえだ もりかず	塚原	海川	
	推	赤羽 照夫	あかはね てるお	橋爪・耳塚	佐原	
	推	寺島 信夫	てらしま しのぶ	牧	小林	
	推	田口 博之	たぐち ひろゆき	古厩・宮城	矢野口	
	推	畠山 宜尚	はたけやま よしなお	小岩岳・嵩下	佐原	
三郷	農	中田 平男	なかた ひらお	東小倉(西)		会長代理
	農	宮澤 貞仁	みやざわ さだひと	中萱		地域長
	農	小澤 守	おざわ まもる	野沢		
	農	倉科 茂男	くらしな しげお	下長尾		
	農	塚田 善久	つかだ よしひさ	北小倉		
	推	石曾根 正尚	いしぞね まさなお	楡・住吉	倉科	
	推	甕 信	もたい まこと	上長尾	小澤	
	推	降幡 修二	ふりはた しゅうじ	南小倉	中田	
	推	降旗 正幸	ふりはた まさゆき	二木・及木	宮澤	
	推	西澤 雅昭	にしざわ まさあき	一日市場・七日市場	宮澤	
	推	帯刀 佳郎	おびなた よしろう	室町	中田	
	推	藤岡 喜美夫	ふじおか きみお	東小倉(東)	中田	
堀金	農	須澤 佳正	すざわ よしまさ	下堀		地域長
	農	猿田 久雄	さるた ひさお	田多井		
	農	北林 幹男	きたばやし みきお	上堀		
	農	北林 澄子	きたばやし すみこ			
	推	矢淵 一良	やぶち かずよし	中堀	須澤	
	推	片桐 久夫	かたぎり ひさお	岩原・倉田	北林(幹)	
	推	唐澤 健康	からさわ たけやす	扇町	須澤	
	推	上條 弘勝	かみじょう ひろかつ	小田多井・田尻	猿田	
明科	農	池上 洋助	いけがみ ようすけ	宮中・光・町・明科		地域長
	農	藤原 秀二	ふじわら しゅうじ	潮		
	農	河上 賢	かわかみ まさる			
	推	伊藤 重徳	いとう しげのり	潮沢・木戸・上生野	藤原	
	推	山崎 晃	やまざき あきら	萩原・南陸郷	藤原	
	推	請地 康仁	うけじ やすひと	上押野・下押野・塩川原	藤原	
	推	大堀 洋幸	おおほり ひろゆき	大足	池上	

がんばる農業者



一柳 康弘さん
(穂高 豊里地区)

経営面積等

搾乳牛……………30頭
育成牛……………21頭
飼料作物……………牧草 15ha
デントコーン…8ha

Q 一柳さんが農業をはじめたきっかけは何ですか？

A 小さいころ酪農をやろうと思っており、北海道の大学で4年間勉強した後、農協で3年間技術員として働きました。その後、実家に戻り現在に至ります。実家に帰ってからは6年目になります。

Q 農業経営を行う中で大変なのはどんなことですか？

A 牛を中心として生活が回っているのですが、自分の時間がなかなか取れないところですね。朝晩の搾乳を休みなくやっています。帰省した最初のうちは、慣れるまで大変でした。

しかし、自分が頑張った分だけ、成果として表れてくるので、そこにやり

がいを感じています。

Q 現在取り組んでいることを教えてください。

A 特に力を入れていることは搾乳です。牛を病気にさせないように、極力清潔に作業を行うことを心がけています。その結果として平成28年、29年に乳質改善共励会において最優秀賞を長野県知事よりいただくことができました。



県乳質改善共励会最優秀賞



北アルプス牧場直売店



牛舎での作業

Q 今後の目標を教えてください。

A 今後も良質な牛乳を持続して生産し続けられるように、日々努力していきたいと思っています。



トラクターに乗っている一柳さん



北アルプス牧場の風景

私のおすすめ

今回は「じゃがいも入りおやき」を紹介します。

食材

材料（18個分）

- 皮：小麦粉……………600g
- じゃがいも……………600g
- B.P.（ベーキングパウダー）……………10g
- 砂糖……………100g
- 水……………150～160g
- 具：あん……………270g
- 切干し大根煮……………270g

作り方

- ①じゃがいもを茹でてつぶす。
- ②粉とB.P.をふるい合わせ砂糖とじゃがいもを混ぜ、水を加えてこねる。（水は少しずつ入れる）耳たぐへらの硬さにする。
- ③具は30gずつ丸める。
- ④生地は18個分に分けて具を包んで平たく丸める。
- ⑤フライパンで焼く。15分蒸す。



堀金 浅川みち子さん

旬の一句・一首

愛おしみ

我が増やせし藤袴

アサギマダラは

今年も飛び交い

豊科 高橋 渡さん

残り穂は

小首かしげ

雪を待つ

穂高 佐原 悦司委員

名月や

何度も廻る

田圃道

三郷 小林 由来さん
（ペンネーム）

しののめに

足しのばせて急ぎ行く

今日の出荷の

セロリー切らんと

堀金 青柳 松子さん

店頭に

松茸並び匂いだけ

ちよつともらいて

ハンドル握る

明科 大石 和子さん

編集後記

7月20日に第6期農業委員会がスタートしました。今号は新たに就任した農業委員・農地利用最適化推進員とその役員体制を紹介する特集となっております。

新たな農業委員会制度は、これまでの農地法などによる農地の権利移動や転用の許認可事務に加え、農地利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）を最も重要な事務として位置づけ、農業委員と併せて「農地利用最適化推進委員」を新設することとなりました。

農業委員会制度がこのように改正されたのは農業者の高齢化と後継者不在が急速に進むと見込まれる中で、農業経営の規模拡大を中心に農地を維持し農業を発展させるという農政の一貫した課題に込めようとするものです。

さて、日本の農業は今大きく変わろうとしています。半世紀近く続いた米の生産調整が今年で廃止となり、農産物販売は共同出荷が変わらず主流ですが、JAを通さずに販売する事例も出てきています。また農政は5年後には法人経営体を2倍以上の5万人にすることを目標とし、農業委員会の任意事務としてその任務にも掲げています。

新たに農業委員に就任した一人として微力ではありますが、少しでもお役に立つべく務めていくつもりです。

この「農業委員会だより」にも農業委員や農地利用最適化推進員の取り組み報告や農業者以外の方の意見なども掲載し、地域農業の課題を市民全体で共有できればと考えています。

編集委員長 河上 賢